

北里大学病院におけるがん薬物療法連携充実加算に係る運用マニュアル

1. 目的

2021年2月、北里大学病院（以下、当院）において、質の高い医療を提供する観点から、がん薬物療法を実施する医療機関と保険薬局との連携強化を目的とした「北里大学病院におけるがん薬物療法連携充実加算に係る運用マニュアル」を定め、地域との連携強化を図り、より安心安全ながん薬物療法が実施されることを目指す。

2. がん薬物療法連携充実加算に係る各職種の役割

2-1. 医師の役割

- 診療科外来にて服薬状況・副作用確認シート（以下、トレーシングレポート）の内容を確認する
- 病院薬剤師による介入ありの場合、当日のファイルに「介入メモ」がトレーシングレポートとともに挟みこまれているので、内容を確認する
- 看護師や病院薬剤師から相談を受けた際には適宜対応する

2-2. 看護師の役割

- 集学的がん診療センター通院治療室（以下、通院治療室）リーダー看護師は、病院薬剤師から提出されたトレーシングレポートより、病院薬剤師による介入が必要な患者を把握し、当日の間診担当看護師への割り振りを行う（病院薬剤師から看護師へのトレーシングレポートの提出は、患者来院予定日の前日15時までとする）
- 保険薬局から送信されたトレーシングレポートをFAX横の茶箱へ保管する

2-3. 病院薬剤師の役割

- 前日までに保険薬局より通院治療室に送信されたトレーシングレポートを回収し、「病院薬剤師介入の必要性あり」にチェックが付いている報告とチェックが付いていない報告を振り分ける
- 「病院薬剤師介入の必要性あり」にチェックが付いていないトレーシングレポートは、診療科・主治医ごとに分類し、前日16時までに各診療科ブロック受付へ提出する
- 「病院薬剤師介入の必要性あり」にチェックが付いている報告について、「介入メモ」を作成、通院治療室の看護師と情報共有する
- 必要に応じて次回来院時に通院治療室で行われる問診に同席し、通院治療室看護師と情報共有したうえでトレーシングレポートおよび介入メモを預ける（当日使用する患者ファイル（以下、患者ファイル）への挟みこみを依頼）
- 医師の診察後、患者ファイルからトレーシングレポートを回収する（当面は振分時にコピーする）
- 医師への情報提供の結果、対応された具体的な内容をトレーシングレポートの＜北里大学病院対

応結果>欄に記入し、保険薬局へ返信する

- 注射抗がん薬投与当日に問診票を回収し、「外来がん薬物療法の治療進捗報告書」を作成（作成方法は後述）、患者へ連携充実加算の趣旨や運用方法について説明し、「外来がん薬物療法の治療進捗報告書」を渡す（別紙：北里大学病院における薬局連携の流れ参照）

（注）非本質的な説明は薬剤師としての責務を放棄し、信頼を失墜させる行為なので慎むこと

（日本薬剤師会の患者フォローアップの手引き（第1.1版, 2020.9）

- 連携充実加算の算定要件を満たした患者について、医事課へ情報提供を行う（医学管理料オーダーを用いる）

2-4. 保険薬局薬剤師の役割

- 対象患者より、処方箋とともに「外来がん薬物療法の治療進捗報告書」を受け取る
- 患者の外来がん薬物療法の内容を把握し、適切な薬剤指導を実施する
- 患者に連絡が可能な日時を確認し、後日、トレーシングレポートを用いて治療経過を聴取する
- 患者の次回受診予定日の前日（祝祭日を含まない）15時までにトレーシングレポートを集学的がん診療センター（通院治療室 FAX：042-778-9891）へ送信する

（注）休日を含まない受診予定日の前日の15時を過ぎると病院薬剤師と看護師の打ち合わせが困難となり、次回受診時に介入が難しくなる可能性がある。

- 緊急対応が必要と判断される場合は、病院代表（042-778-8111）へ問い合わせのうえ、直接主治医へ連絡する

（注）緊急対応となった場合であっても、保険薬局での対応内容をトレーシングレポートに記載し、がん診療センターへ送信する

3. 「外来がん薬物療法の治療進捗報告書」について

3-1. 外来がん薬物療法の治療進捗報告書とは

当院より、保険薬局薬剤師への情報提供を目的として作成される文書であり、がん薬物療法連携充実加算の算定要件となっている①レジメン名、②治療スケジュール（コース数）、③抗がん薬の名称および投与量、④副作用発現状況（血液検査および自覚症状）が記載されている。また、次回注射抗がん薬投与予定日、その他、前回治療からの変更点やその理由、レジメン以外の注射の支持療法が、引継ぎ事項として記載される。報告書は患者またはその家族に提供されるので、保険薬局は患者より報告書を受け取った後、必要に応じてコピーをとり、患者へ返却する。個人情報の取り扱いについては十分注意する。

3-2. 外来がん薬物療法の治療進捗報告書の作成手順（病院薬剤師）

- ① 集学的がん診療センターより当日の問診票を回収する
- ② 患者カルテの文書一覧より「外来がん薬物療法の治療進捗報告書」を選択する
- ③ 電子カルテのオーダー一覧画面より、レジメン名および抗がん薬投与量を入力する
- ④ 治療スケジュール（コースカウント数）は当日の薬剤師記録を参照する
- ⑤ 血液検査データに基づく副作用については当日の検査結果を確認し、該当欄にチェックする

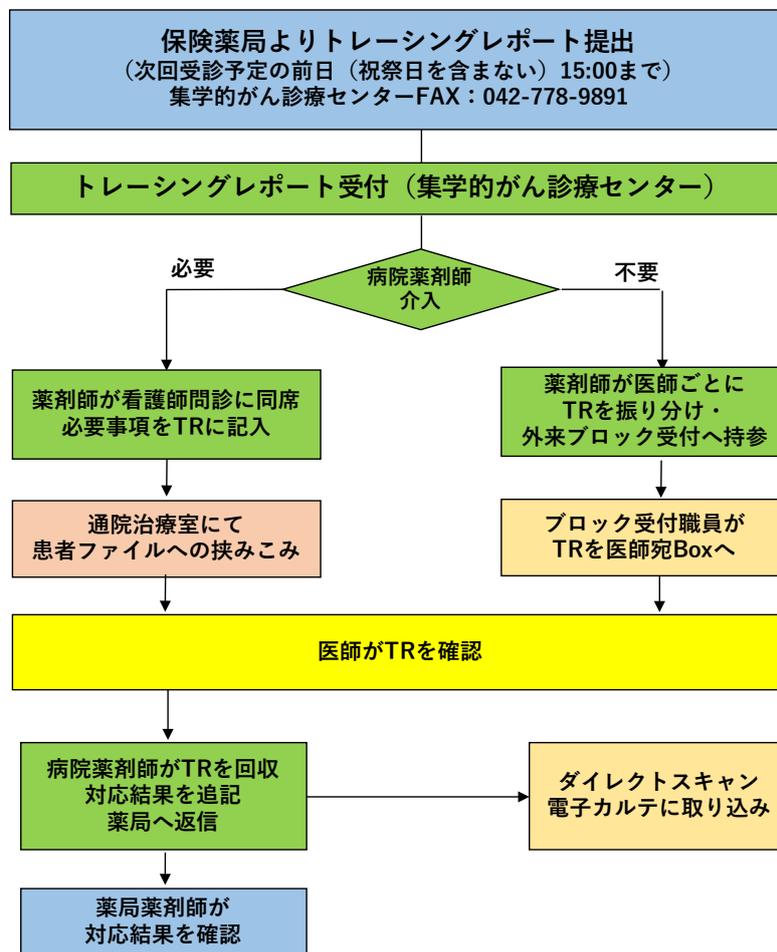
- ⑥ 副作用の自覚症状については、患者面談および問診票の記載をもとに該当欄にチェックする
- ⑦ 引継ぎ事項については、当日の薬剤師記録を参照し、投与量の変更、注射の支持療法の情報等を記入する

4. 「服薬状況・副作用確認シート（トレーシングレポート）」について

4-1. 服薬状況・副作用確認シート（トレーシングレポート）とは

保険薬局より、当院の主治医への情報提供を目的として作成される文書であり、患者や家族から得た情報のうち、内服抗がん薬の服薬状況や、副作用発現状況について次回診察までに情報提供されることを想定している。トレーシングレポートによる情報提供は疑義照会には該当しないため、疑義照会の場合は通常のルールに従い電話にて行う。

4-2. 服薬状況・副作用確認シート（トレーシングレポート）の流れ



TR：トレーシングレポート

図 1. 服薬状況・副作用確認シート（トレーシングレポート）の流れ

服薬状況・副作用確認シート（トレーシングレポート）の流れを図 1 および以下に示す。

- ① 保険薬局薬剤師は、患者から渡された『外来がん薬物療法の治療進捗報告書』を確認し、次回診察までに患者の治療経過や副作用発現状況を確認、FAX にてトレーシングレポートを通院治療室

へ提出する。なお、トレーシングレポートは当院ホームページに掲載されている指定の様式（当院薬剤部ホームページより取得可）とする

- ② 病院薬剤師はトレーシングレポートを確認し、病院薬剤師介入の必要性がある報告について、「介入メモ」を作成し、通院治療室看護師と前日 15 時まで情報共有する
- ③ 病院薬剤師は、介入の必要性のないトレーシングレポートを主治医別に分類し、前日 16 時までに各診療科外来ブロック受付へ預ける。ブロック受付職員は、医師宛のトレーシングレポートを書類箱に入れる
- ④ 患者来院当日、病院薬剤師介入の必要がある場合には、看護師の問診に同席し、患者へ必要事項を確認する
- ⑤ 病院薬剤師介入の必要性のあるトレーシングレポートおよび「介入メモ」を通院治療室看護師と情報共有し、当日の患者ファイルに挟みこむ
- ⑥ 診療科医師は患者ファイルよりトレーシングレポートおよび「介入メモ」の内容を確認する
- ⑦ 病院薬剤師は、各診療科外来または通院治療室にてトレーシングレポートを回収する
- ⑧ 病院薬剤師は、介入を行った事例のトレーシングレポートに対応内容を追記、保険薬局へ結果を FAX にて報告する。その後、診療情報管理課へ電子カルテ取り込みを依頼する
- ⑨ 診療情報管理課は、トレーシングレポートを電子カルテに取り込む
※2 日以内に次回受診日を迎える場合は、診療情報管理室に急ぎの旨、連絡する

5. 当院で注射を含むがん薬物療法を実施される患者様の流れ

注射抗がん薬投与当日における基本的な流れは以下のとおりである。

- ① 中央採血室にて必要な検査を受ける
- ② 通院治療室にて問診票（副作用の自覚症状等）を記入
- ③ 通院治療室看護師による問診を受ける（必要に応じて病院薬剤師同席）
- ④ 各診療科外来を受診、がん薬物療法実施の指示を受ける
- ⑤ 通院治療室にて注射抗がん薬による投与を受ける（治療中に病院薬剤師による薬剤および連携充実加算に関する説明を受け、外来がん薬物療法の治療進捗報告書を受け取る）
- ⑥ 保険薬局にて処方箋および外来がん薬物療法の治療進捗報告書を提出する
- ⑦ 保険薬局にて必要な薬剤説明を受ける

6. 当院ホームページへの公開情報について

外来がん薬物療法連携充実加算に関連する資料を当院薬剤部ホームページ（URL：<https://www.khp.kitasato-u.ac.jp/Bumon/drug/bumon/bumon2.asp>）に掲載しております。

- 北里大学病院におけるがん薬物療法連携充実加算に係る運用マニュアル
- 北里大学病院における薬局連携の流れ（患者様向け）
- 服薬状況・副作用確認シート（トレーシングレポート）【Word】【PDF】
- 当院のがん薬物療法レジメン集

7. 外来がん薬物療法連携充実加算に関する問い合わせ先

北里大学病院薬剤部（代表）：042-778-8111

抗がん薬調製室：042-778-8068

FAX 送信先(集学的がん診療センター通院治療室)：042-778-9891